

介護事業に技能実習生

三重・JA伊勢みのりデイサービス

【三重・伊勢】JA伊勢みのりデイサービスは、外国人技能実習生2人を採用した。介護事業の労働力不足の解消につなげる狙い。実習生は、通所サービス利用者らの介助やレクリエーション活動のサポートなどをする。

介助やレクリエーション担う

労力不足解消へ2人採用

介護業界では、全国で人手不足が問題となっている。JAは、介護事業の雇用安定のため、監理団体を介しての実習生の受け入れを決めた。

採用に当たってJAは、1年前に2人を面接した。2人はその後1年間、ベトナムで日本語と介護技術の研修を受講し、JAでの勤務に備えた。11月下旬に来日し、JAへ入組した。

実習生らの任期は3年間。フルタイムで勤務するが、利用者とのコミュニケーションを取り、実践的な日本語に慣れるためにも、レクリエーション活動のサポートなどから始めている。今後は入浴・

排泄・食事の三大介助もしていく。

JAの担当者は「実習生は、利用者らの孫と同年代。施設の雰囲気が出るようになった。既存の職員も、実習生に仕事を教えることで初心に返るなど、いい影響が出ている」と話す。

◇
JAの介護サービスへの外国人技能実習生の採用は、地方のJA厚生連で取り組んでいるケースはあるが、単位JAの介護サービスでは珍しい。

